

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
加木屋周辺地区

平成27年10月

愛知県東海市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	緑などの自然環境に満足している市民の割合	%	46.2	60.0	52.6	確定 見込み	△	あり なし	56.0	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、加木屋緑地や加南ふれあいの森などが整備され、自然にふれることのできる場が増えたため、満足度向上につながった。
指標2	災害に対する家庭内での備えができている世帯の割合	%	32.0	57.5	36.4	確定 見込み	△	あり なし	37.9	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、南部地域防災センターの整備など、地区の防災機能が高まったことにより、市民の防災意識も向上し、災害に備える世帯の割合の増加傾向が維持された。
指標3	地域活動・ボランティア活動に参加している市民の割合	%	24.8	25.0	21.2	確定 見込み	×	あり なし	21.5	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、公園緑地の整備に合わせ、アダプトなど活動団体の数も増えたことにより、地域活動などに参加する人の増加傾向が維持された。
指標4	市内を車で移動するときにスムーズに出来ていると思っている人の割合	%	64.5	75.4	70.3	確定 見込み	△	あり なし	68.7	H27年5月	△	実施年度の異なるアンケート調査であるため差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	評価値から値を下げ、目標値にも達しなかったが、道路を整備することにより、地区内外のアクセス向上や歩行者の安全性の確保など、従前に比べ、地区内の道路交通環境の改善につながった。
指標5	地区内の公園緑地面積	ha	20.9	35.6	26.5	確定 見込み	△	あり なし	26.2	H26年5月	△	岩屋口史跡公園とふれあいの森のH25年度末時点の供用面積が予定と実績で異なったため、差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったが、都市再生整備事業等による公園整備が順調に進んだことにより、緑など市内の自然環境に対する市民の満足度の向上につながった。
指標6	子育て広場(ほくほくルーム)利用者数	人/年	0	2,400	-	確定 見込み	-	あり なし	12,601	H27年5月	○	対象施設がH26年度からの供用であり、評価値設定時点での推計ができなかったため、差異が生じた。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	南部子育て支援センターの管轄区における、ほくほくルーム対象年齢の地区人口から設定された目標値を大幅に上回った。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	アダプトプログラム登録団体数	団体	4	/	8	確定 見込み	●	/	/	18	H26年5月	/	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	公園緑地などの整備が進み、自然とふれあえる場が増えたり、市民の環境意識の向上に伴い、登録団体数の増加につながった。
その他の数値指標2	南部地域防災センター利用者数	人/月	0	/	415	確定 見込み	●	/	/	257	H26年5月	/	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	利用者数は減少傾向にあるが、施設の整備による地区の防災機能が高まったことにより、家庭内の備えなど防災意識の向上につながった。
その他の数値指標3	地区内緊急輸送道路延長	m	9,830	/	11,020	確定 見込み	●	/	/	11,020	H26年5月	-	<ul style="list-style-type: none"> □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる 	地区内の緊急輸送道路である都市計画道名古屋半田線の整備が進むとともに、連絡する市道の整備も進んだことにより、地区の安全性が向上した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	自然に触れあえる環境の活用促進 (地域住民等と連携した自然環境を活かしたまちづくり活動の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境再生拠点である加木屋緑地でのイベント実施・広報等でのPR ・地域住民と連携した公園緑地等での植樹イベントの開催 ・地元コミュニティのまちづくり活動への継続的な支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・加木屋緑地において、H26.2に植樹祭を行い、800人近くの参加者があった。 ・H26.11には加木屋緑地の育成ボランティアが結成された。 ・加南ふれあいの森では、地元コミュニティによる保全活動が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの継続や普及PRの充実 ・各種環境活動の継続的な支援
	安心して快適な生活環境の維持・向上 (地域住民や事業者等と連携したまちの美化活動や、公有地・民有地の緑化の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者が自主的に行うアダプトプログラム事業を引き続き実施した。 ・花壇コンクールの継続的な実施 ・生垣設置費補助制度の普及PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトの登録団体数及び登録人員が大幅に増加した(8団体169人→18団体284人)。 ・コンクールの参加数、補助制度の活用数ともに毎年維持されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプト登録団体など市民、事業者との連携強化や新規参加を促す施策の推進 ・花壇コンクールや補助制度の継続的な実施
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	地域住民等の防災意識の向上 (自主防災組織、企業、学校等と連携した、地域住民等の防災知識の普及や防災意識の啓発活動の実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織、企業、学校等と連携した防災訓練の実施 ・防災リーダー育成講座の実施 ・防災マップ、広報パンフレット等の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員講習や企業とタイアップした講座の開催、南部防災センターにおける市民向けの講習などにより、着実に防災意識は高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会における新規参加者の確保、タイアップ企業数の増進などさらなる意識向上策の実施

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項